

提案事項 VI

収支計画

提案事項 6

収支計画

1 提案内容

「小倉競輪実施事務等の包括委託に係る経費について、提案見積額と支出見積を記載し、年度毎及び5年間の収支計画を求める。

2 提案にかかる前提条件

(1) 提案見積額の合計額は、年度毎に提案事項1～5の経費見積(税抜)の金額全体に消費税乗じて計算すること。5カ年の合計額(税込)をもって、包括委託に必要な全ての経費見積とみなす。

経費見積を売上に対する比率で示すことも可能とするが、この場合であっても想定する見積額も記載すること。なお、5カ年で市が支払う委託料は本要項で示している上限額を限度とする。

(2) 支出見積額については、包括委託費の中で支出する経費区分(勘定科目)毎に記載すること。また、提案見積額と同様に、年度毎に支出見積(税抜)の金額全体に消費税を乗じて計算すること。

(3) 収支計画書の合計額は、消費税及び地方消費税を含んだ額で算定すること。

3 提出書類

【事業提案書 様式F】 小倉競輪実施事務等の包括委託に関する収支計画書

4 事業提案書記載上の留意点

(1) 提案見積額

ア 提案事項1～5の経費見積額を重複がないよう、また漏れがないよう年度毎に合計して記載すること。

イ 経常的経費とは、毎年度持続して支出される経費をいう。

ウ 臨時的経費とは、一時的に支出される経費をいう。

※例えば、バンク改修や施設の法定点検など、毎年度は実施しないもの。

(2) 支出見積額

【事業提案書 様式F】の経費区分は参考で記載しているので、任意で修正、追加し、それぞれの経費について金額を記載すること。